

1. 諮問事項

「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」第2条第2項で定める県内希少野生動植物種に「ムジナモ」を指定する。



ミジンコを捕食するムジナモ
写真提供：羽生市

2. ムジナモの指定理由

- ムジナモは永らく野生絶滅*1状態であったが、関係者による地道な保全活動により、令和7年1月公表の「埼玉県レッドリスト植物編」で絶滅危惧ⅠA類*2に分類され野生復帰。野生絶滅から野生復帰した事例は本県では初めてであり、自生地環境変化により再び野生絶滅となるおそれがあることから、県内希少野生動植物種に指定し保護する必要がある。

*1 飼育・栽培下のみ存続している種

*2 ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

3. 指定候補種の選定

- 「埼玉県希少野生動植物種保護基本方針」に基づき、令和7年3月に開催した埼玉県希少野生動植物種検討委員会*3において、「県内希少野生動植物種の選定に関する基本的な事項」に該当するものとして選定。

*3 県内希少野生動植物種の選定など条例に関する必要な事項を検討することを目的として設置

4. ムジナモについて

- 【概要】** モウセンゴケ科ムジナモ属の食虫植物。
水中の小動物（ミジンコ等）を捕食して栄養とし、光合成も行う。
日本では、NHK連続テレビ小説「らんまん」のモデルとして取り上げられた牧野富太郎博士により発見。
植物の形がアナグマ等「ムジナ」の尾に似ることから、ムジナモと命名。
- 【自生地】** 宝蔵寺沼（羽生市）
1966年 「宝蔵寺沼ムジナモ自生地」として国の天然記念物に指定。
1968年 ムジナモが自生している区域約3haを羽生市が市有地化。
- 【希少性】** 国内のムジナモ自生地は宝蔵寺沼のみ（2025年8月時点）
埼玉県レッドデータブック植物編（初版～第3版）までは野生絶滅に分類。
埼玉県レッドデータブック植物編（第4版）に先行して公表した埼玉県レッドリスト植物編で絶滅危惧ⅠA類に分類され野生復帰。
- 【沿革】** 1966年の台風による流出や農薬などの影響により宝蔵寺沼でムジナモの自然繁茂が見られなくなり、永らく県内では野生絶滅状態。
羽生市、羽生市ムジナモ保存会、埼玉大学などが連携し自生地の環境整備、保護増殖、調査研究を実施。
2009年 ： 自生地への試験的なムジナモの直接放流を開始。
2011年 ： 自生地で越冬した個体の増殖確認。
2016年以降： 毎年10万個体以上の自然増殖が継続中。

【保全活動】



【羽生市】 自生地の環境整備



【保存会】 自宅での保護増殖



【埼玉大学】 自生地調査

1. 県内希少野生動植物種指定の制度概要

【埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例】
○第2条第2項
「県内希少野生動植物種」は、その個体が県内に生息し又は生育する希少野生動植物の種で、規則で定める。
○第8条
知事は「埼玉県希少野生動植物種保護基本方針」を定める。

【埼玉県希少野生動植物種保護基本方針】
第2 県内希少野生動植物種の選定に関する基本的な事項

○1. 県内希少野生動植物種
県内希少野生動植物種は、その県内における生息・生育状況が、人為の影響により存続に支障を来す事情が生じていると判断される種で、下記表のいずれかに該当するものを選定。

ア その存続に支障を来す程度に個体数が著しく少ないか、又は著しく減少しつつあり、その存続に支障を来す事情がある種
イ 県内の分布域の相当部分で生息地等が消滅しつつあることにより、その存続に支障を来す事情がある種
ウ 生息地等の生息・生育環境の悪化により、その存続に支障を来す事情がある種
エ 生息地等における過度の捕獲・採取により、その存続に支障を来す事情がある種

第6 その他希少野生動植物の種の保護に関する重要事項
○3. 有識者の意見の聴取
希少野生動植物の種の保護施策を的確かつ効果的に推進するために、有識者の知見を積極的に徴するものとする。

2. 県内希少野生動植物種の指定状況

	科名	種名	指定年月日
動物種：3種	イモリ科	アカハライモリ	H12年12月1日
	トゲウオ科	ムサシトミヨ	H12年12月1日
	フシダカバチ科	ソボツチスガリ	H12年12月1日
植物種：19種	ウラボシ科	アオネカズラ	H12年12月1日
	ヒメウラボシ科	キレハオオクボシダ	H12年12月1日
	デンジソウ科	デンジソウ	H12年12月1日
	ナデシコ科	イトハコベ	H13年12月1日
	スイレン科	オニバス	H12年12月1日
	ウマノスズクサ科	タマノカンアオイ	H12年12月1日
	サクラソウ科	サワトラノオ	H13年12月1日
		サクラソウ	H12年12月1日
		チチブイワザクラ	H12年12月1日
	リンドウ科	チチブリンドウ	H13年12月1日
	ゴマノハグサ科	キタミソウ	H12年12月1日
	キク科	キバナコウリンカ	H12年12月1日
	ユリ科	ミヤマスカシユリ	H12年12月1日
	カヤツリグサ科	トダスゲ	H13年12月1日
	ラン科	ムギラン	H13年12月1日
		ホテイラン	H12年12月1日
		コ克蘭	H12年12月1日
		トキソウ	H12年12月1日
		ムカデラン	H12年12月1日